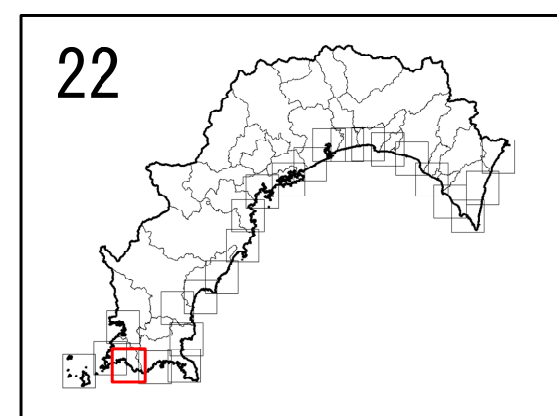
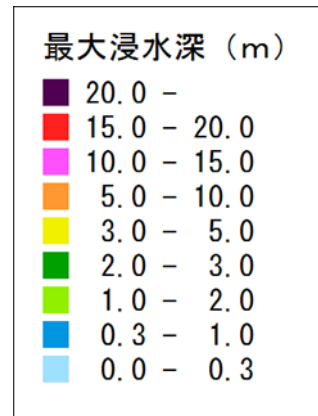
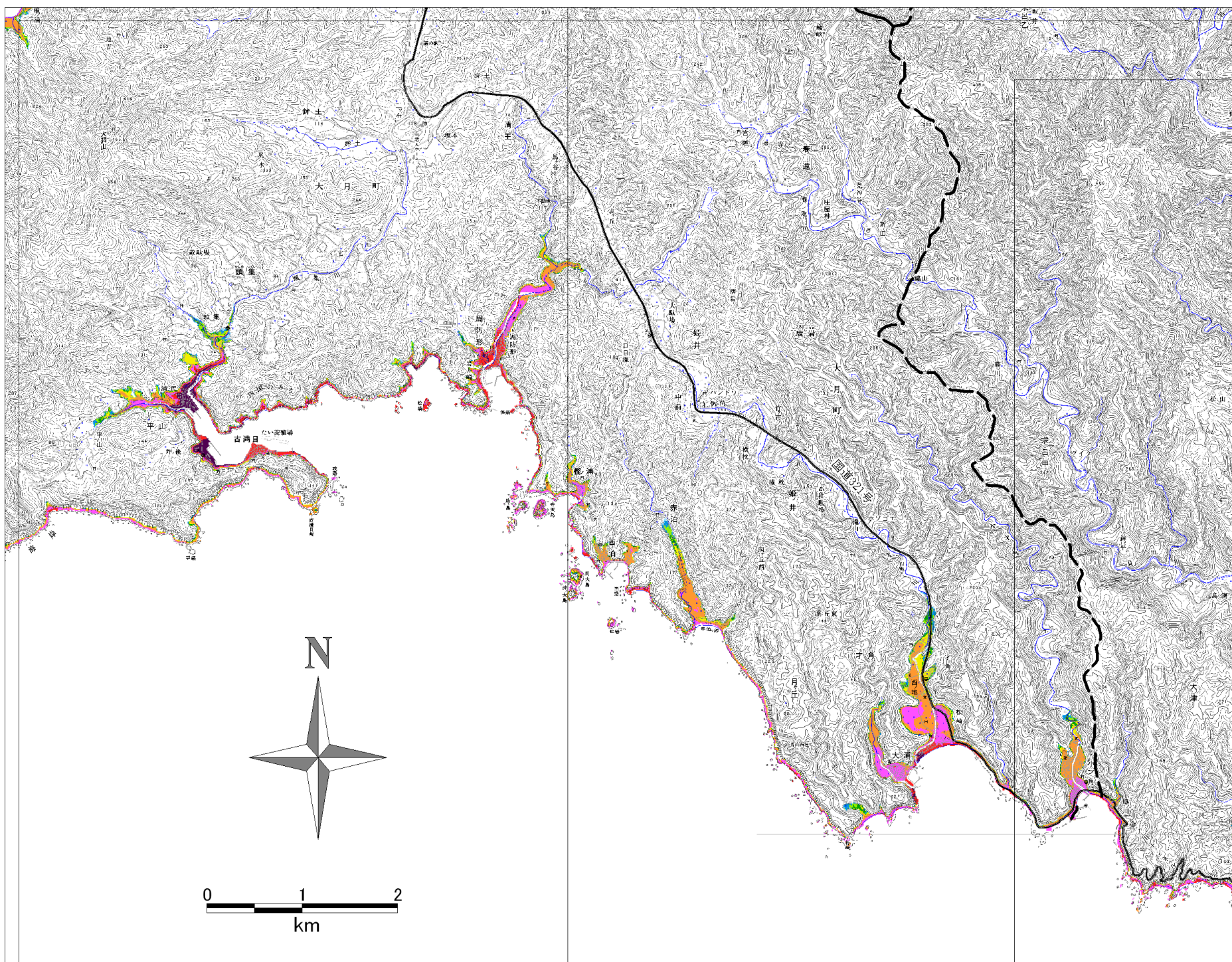


6-4 津波浸水予測図 22 大月町（その1）



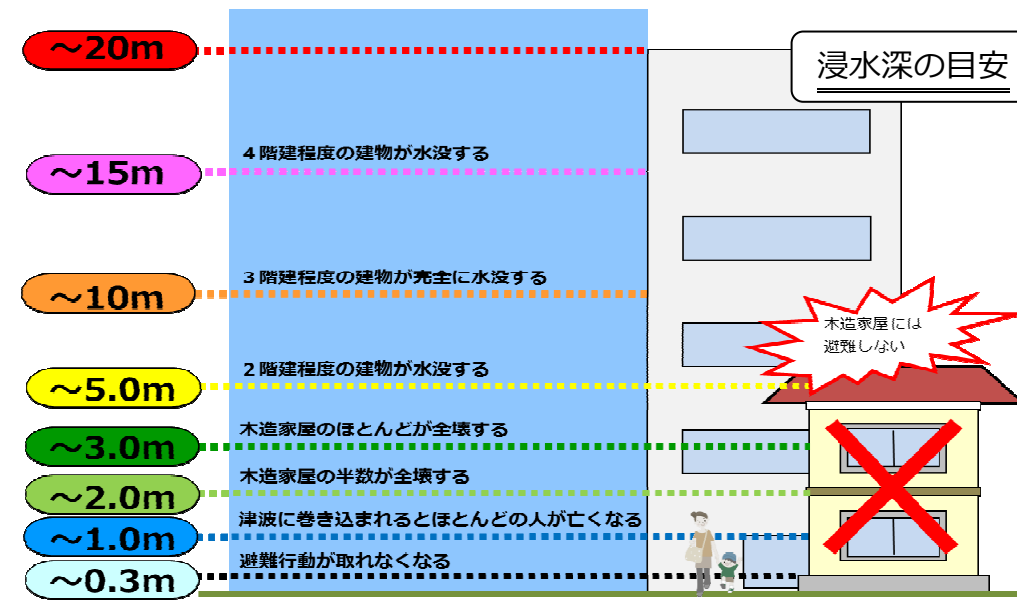
【避難すべき場所がわかります】

・さらにもう一段高いところにすぐに上がれるような高台を目指して逃げましょう。近くに高台がない場合は、浸水深より高い建物や、津波避難タワーなどを避難場所として検討しましょう。

その1 「事前の備えが大切。あなたの命を守るのはあなた自身！」
 その2 「思いこみは禁物。想定にとられるな！」
 その3 「取り組みに無駄はない。できることから実行を！」

注意事項

- ・この図は、最大クラスの津波による浸水域・浸水深を重ね合わせて示しています。
- ・海岸堤防や河川堤防は「なし」の条件で推計しています。
 - ※コンクリートで建設された堤防：堤防が全くない条件
 - ※土で築造された堤防：地震後は25%の高さに沈下し、津波が越流すると同時に「なし」の状態になる。
- ・浸水域や浸水深は、局所的な地面の凹凸や建築物の影響などにより、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。



※現在の基図は古いものが含まれています。最新の基図が発行されましたら、差し替えとなります。